

## HBK の臨床使用経験

関 賢一・加藤友康・長島 圭・林 茂  
川崎市立川崎病院産婦人科

新アミノ配糖体抗生物質である HBK を婦人科感染症 4 例に用い 2 例の有効成績が得られた。副作用として軽度の下痢が 1 例にみとめられたが、投薬を中止する程ではなかった。投与前後の末梢血、肝機能・腎機能検査で、本剤によると思われる変化は認められなかった。

HBK は微生物化学研究所の梅沢浜夫博士らによって新たに合成され、明治製菓(株)で開発されたアミノ配糖体抗生物質で Fig.1 に示す構造式のように、1 位に aminohydroxybutyryl 基を有する dibekacin (DKB) の新規誘導体である。

本剤はグラム陽性菌、グラム陰性菌に広く抗菌作用を示し、その抗菌作用は殺菌的で、特にブドウ球菌には優れた抗菌力を有することが認められている。

今回われわれは、4 例の少数例ではあるが、臨床例を経験したので報告する。

## I. 対象並びに方法

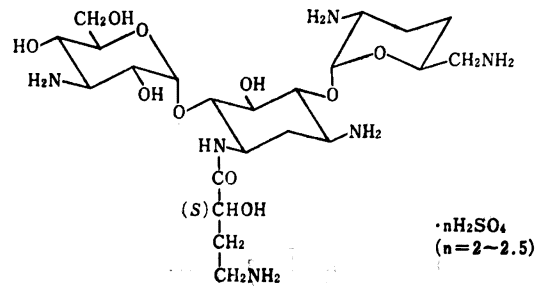
昭和 59 年 10 月から同年 11 月までの間に当院に入院した骨盤腹膜炎 1 例、子宮付属器炎 3 例の計 4 例に本剤を投与した。年齢は 20 歳から 49 歳であった。

投与量および投与方法は 1 回 75 mg または 100 mg を 5% ブドウ糖液 500 ml に溶解し 60 分かけて点滴静注した。これを 1 日 2 回行なった。投与期間は、5 日～10 日間で、投与総量は、825 mg から 1,425 mg であった。

## II. 成績

HBK の臨床効果の検討成績を Table 1 に、臨床検査

Fig. 1 Chemical structure of HBK



6-O-(3-Amino-3-deoxy- $\alpha$ -D-glucopyranosyl)-4-O-(2,6-diamino-2,3,4,6-tetra-deoxy- $\alpha$ -D-erythro-hexopyranosyl)-1-N-[(S)-4-amino-2-hydroxybutyryl]-2-deoxy-D-streptomycin sulfate

値の推移を Table 2, 3 に示した。

症例 1 30 歳、骨盤腹膜炎。

人工妊娠中絶後 3 週間目に、腹痛と発熱を主訴として来院。腹膜炎症状強く、入院後本剤 1 日 150 mg 投与で 6 日間使用したが、症状軽快せず他剤に変更した。入院後 9 日目に腸閉塞症状を呈し、外科にて開腹、卵管留膿腫による骨盤腹膜炎を確認したが、炎症は不変であり無

Table 1 Clinical effects of HBK

Case No.	Name	Age	Diagnosis	Dose			Isolated organisms		Clinical effect	Side effect
			Underlying disease	Route	Daily dose (mg) & Duration (day)	Total dose (mg)	Before	After		
1	M. S.	30	Pelvic peritonitis —	D. I.	150 × 6	825	—	N. D.	Poor	Diarrhea
2	E. O.	20	Adnexitis —	D. I.	150 × 6	900	<i>S. epidermidis</i>	N. D.	Unknown	—
3	Y. T.	23	Adnexitis Ovarian tumor Pharyngitis	D. I.	150 × 10	1,425	<i>S. sanguis</i> <i>S. equinus</i> <i>P. anaerobius</i>	N. D.	Good	—
4	F. T.	49	Adnexitis —	D. I.	200 × 5	1,000	<i>S. intermedius</i>	N. D.	Good	—

N.D. : Not Done

Table 2 Laboratory findings before and after administration of HBK

Case No.		RBC ( $\times 10^4/\text{mm}^3$ )	Hb (g/dl)	Ht (%)	WBC ( $/\text{mm}^3$ )	Plat ( $10^4/\text{mm}^3$ )	CRP	ESR (mm/hr)
1	Before	409	12.7	38.1	7,300	32.9*	5+	62
	After	428	13.2	39.2	7,500	42.7	4+	75
2	Before	448	15.4	43.1	7,200	23.7	-	5
	After	430	13.6	40.9	5,500	23.5	-	N. D.
3	Before	411	13.6	40.6	16,600	28.2	2+	36*
	After	417	13.7	40.5	6,700	42.8	+	26
4	Before	368	12.5	36.1	15,400	25.1	3+*	25
	After	369	12.4	35.6	6,600	27.7	±	20

N. D. : Not Done

\* : During administration

Table 3 Laboratory findings before and after administration of HBK

Case No.		S-GOT (u)	S-GPT (u)	Al-P (u)	BUN (mg/dl)	S-Cr. (mg/dl)
1	Before	17*	20*	219*	6.6*	N. D.
	After	16	14	249	6.9	N. D.
2	Before	21	13	171	9.7	0.9
	After	13	11	162	11.2	1.0
3	Before	12	3	114	7.3	0.9
	After	15	6	103	12.1	1.2
4	Before	10*	5*	71*	6.5*	0.8*
	After	18	4	82	9.4	0.8

N. D. : Not Done

\* : During administration

効と判定した。(入院時にダグラス窩穿刺により得た腹水からは細菌の検出が出来ず起炎菌不明であった。) HBK 投与2日目, 3日目に軽度の下痢がみられたが, 投与を中止する程ではなかった。

症例 2 20 歳, 子宮付属器炎。

人工妊娠中絶後5日目に下腹痛を主訴として来院。本剤1日 150mg 投与で6日間使用により臨床症状の軽快はみられたが, 投与前後の検査値では感染を裏付ける異常値はみられなかった。また腹水より *S. epidermidis* を分離したが, その後分離しておらず, 臨床効果は不明と判定した。

症例 3 23 歳, 子宮付属器炎。

発熱と下腹痛を主訴として来院。本剤1日 150mg 投与で10日間使用により臨床症状の軽快および白血球数,

CRP の改善が認められた。咽頭炎の合併がみられたが, 腹水から数種の細菌が検出されたことから, 臨床診断が確認され, 有効と判定した。

症例 4 49 歳, 子宮付属器炎。

腹痛を主訴として来院。腹水から起炎菌と思われる嫌気性 *S. intermedius* が検出された。本剤1日 200mg 投与で5日間使用により, 臨床症状, 検査値ともに著しい改善がみられ有効と判定した。

### III. 考 察

4例の臨床例から結論を引き出すことは不可能であるが既存のアミノ配糖体抗生物質に匹敵する臨床成績を得たと考えられる。

副作用として, 1例に下痢がみられたが, これは本剤によるものより, 炎症そのものによる腸管の過剰刺激が要因とも考えられる。また薬剤の性質上, 大量使用に際しては, 聴力検査の必要性も十分考慮することが大切と思われる。

最近では, 相次ぐ抗生物質の開発のため, 不適当な抗生物質の使用により, 将来, 各種耐性株の急増という事態も予測される。本剤のように, 特に耐性株用に理論的に開発された薬剤が準備されることは有意義なことであると同時に, その使用に際しては十分な配慮と検討が必要であろう。

### 文 献

- 1) 第31回日本化学療法学会西日本支部総会, 新薬シンポジウム(2), HBK, 佐賀。Chemotherapy 32: 256~260, 1984.

## CLINICAL EXPERIENCE ON HBK

KENICHI SEKI, TOMOYASU KATO, KEI NAGASHIMA and SHIGERU HAYASHI  
Department of Obstetrics and Gynecology, Kawasaki Municipal Hospital

HBK, a new aminoglycoside group antibiotic, was administered to 4 patients with acute pelvic inflammatory disease. The following results were obtained.

- 1) Good response were seen in 2 patients.
- 2) Diarrhea was observed in 1 patient.
- 3) No abnormal changes were recognized on C. B. C., liver and kidney functions.